

世界人権宣言 75 周年記念京都ヒューマンフェスタ 2023  
開催業務に係る質疑への回答

令和5年6月14日現在

Q1: プロポーザルの結果はいつ出るか。
A1: 7月中旬の結果の公表を予定している。
Q2: 映画の上映時間は。
A2: 「めぐみ」は 25 分程度、もう 1 本の作品は 1 時間 50 分程度を想定している。
Q3: 京都府広報課の Twitter を活用した広報(画像やテキスト情報の発信)は可能か。
A3: 可能である。
Q4: エコバッグについては、素材は指定があるか。
A4: 指定しない。
Q5: 「主催者が確保している時間」について、当日の第1展示場の確保時間は 17 時までとあるが、17 時以降の予約が空いていないのか、あくまで確保していないだけか。撤去に必要な時間を踏まえて料金を見積れば、京都府で該当時間を仮押さえ出来るか。
A5: 会場の予約システム上、17 時以降は事前の予約ができないため 17 時までとしているが、今後、京都府が会場に事前に提出する「『展示場』利用計画書」において申請すれば、17 時以降の時間についても利用可能。(なお、1 時間毎の延長利用料が必要)
Q6 「ギア」の実施回数、所要時間はどの程度か。機材は委託業者が準備するか。
A6: ショーは 1 回実施し 20~30 分程度。ワークショップも 30 分程度で実施は 1 回を想定しているが、今後の調整により回数は増える可能性がある。 音響機材については、「ギア」から音響機材は持ち込まず、会場ステージに設置する音響機材を使用。イヤホンジャックのある音響機材を準備いただきたい。また、ワークショップ用にポータブルスピーカー及びワイヤレスヘッドセットの用意が必要である(各 1 セット程度)。費用は委託料に含まれ、仕様書に記載の 60 万円(出演料)とは別。 照明機材については、簡易なものを「ギア」から持ち込む予定である。
Q7: 映画上映に必要な再生機等とはどのようなものか。
A7: 映画の上映素材は DVD であり、DVD プレーヤーを想定している。
Q8: 提案した出演者が、京都府との協議によってはすべて白紙になることがあるか。
A8: 受託事業者決定後の協議の中で、府が再調整が必要と判断した場合は、白紙となることもありうる。
Q9: 目標参加者数が 3,000 人以上。第 1 展示場に 3,000 人が同時に滞在している場合、有効面積は狭くなると思うが、コロナ対策は意識しなくてよいか。
A9: 消毒液の設置による感染対策以外は意識していただく必要はない。
Q10: 出演者が SNS のアカウントを所有していた場合、イベント告知をすることは絶対条件か。
A10: SNS での発信が主流である昨今、フォロワーや出演者と繋がりのある方の参加を期待し記載している。なお、別途の方法により集客が見込める場合に調整することは可能。